



大学構内の風景写真(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

平成20年度の最初のレターになります。今年度も楽しく元気にやっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いしませう(コ)。

1. 第7回産学官連携推進会議に出席しました。

毎年6月に京都宝ヶ池国際会議場で開催されます内閣府主催産学官連携推進会議(6月14日(土)~15日(日))に今年もブース出展いたしました。



地域資財(奈良漬)展開プロジェクト

奈良漬アイス(奈良漬、小しほが、大和マナ)商品化
奈良漬サブレ商品化
奈良漬オムレツ今秋商品化予定

地域資財(奈良漬)展開プロジェクトでは、2008年2月に新巻高島屋でのイベント販売から、2商品について一般販売を開始しました。レシモ集についても好評配布中です。本プロジェクトは「奈良漬の食プロジェクト」へと発展移行し、奈良漬だけでなくとどまらぬ商品開発に学生力が期待されています。

表彰状
特別賞 増井正哉 先生
賞状 増井正哉 先生
賞状 増井正哉 先生

地域資財(奈良漬)展開プロジェクトは、「奈良漬に学生の感覚とアイデアでアプローチし、アイスクリームで商品化した地域色豊かな取り組み」と評価いただいています。

学生製作のデザインが全面的に採用されています。

国立大学法人 奈良女子大学 生活観光現代GP推進室 代表 増井正哉 (生活環境学部 教授)

地域資財(御所柿)復興プロジェクト

御所柿とは、奈良県南葛城郡御所町の杉村氏宅を原木とするすべての甘柿の果実です。江戸時代には毎年徳川家に献上され、昭和に入っても昭和天皇の御大典の献上品にあげられていました。「御所柿の魅力再発見」御所柿を基にしたまちづくりとして調査が開始されました。江戸時代に街道の中心に位置した御所柿の柿は甘みが強く(数人がその技術をおわけてもらい、大根に刺して持ち帰ったこと)で奈良県外にも生息しています。

2007年10月27日~11月14日に5日新実地産物祭り調査

2007年11月22日毎日新聞掲載

「御所柿、どれだけ!」

一実地調査の過程で前々とした古い風景を再発見します。今は使われなくなった木製の舟型を用いた「あしがた舟司(御所柿 舟型の柿の葉寿司)」を載せていたたり、古い土産屋を載せていただき、埋もれつつある生活文化の再発見になりました。御所柿をもう一度市場に、御所柿で地域復興を、とまだまだこの取り組みは続いています。

「御所柿所有者の協力家庭に全戸聞き取り調査を行い、樹齢によって色分けされた御所柿分布図が作成されます。また木々についてのDND鑑定(近畿大学協力)の結果によって、樹齢順でも判別し、人の気配の濃れが見えます。旧街道についても御所柿分布より厚かまびよがっていることは大変興味があります。

国立大学法人 奈良女子大学 文学部 寺岡伸吾 (准教授) 他

地域資財(ナラノヤエザクラ)展開プロジェクト

「なら八重桜」は歴史文学的育葉とその形状、香り(蘭母香)から、商品シリーズ展開できる地域ブランドとしての特性を兼ね備えています。奈良県の黒花であり奈良市の市花でもあり、奈良女子大学の学章の一部に用いられています。平成20年に第45代武蔵天皇が宮中に植え替えた歴史と、平安時代に伊勢大権が宮中一条天皇の前で詠んだ和歌「ならの奈良の都の八重桜行ふふら」にちなむものが現在まで伝えられていることで有名です。今年に採取した花の一部より Torulaspora delbrueckii 株が分離され、商品開発が本格化しています。

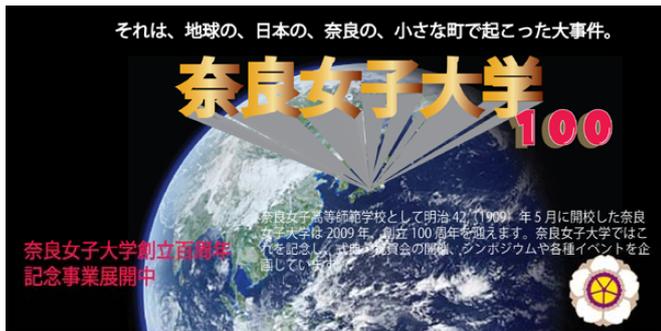
■中間報告(6/3現在)■

- Torulaspora delbrueckii 株の分離に成功。
- Saccharomyces cerevisiae 株(アルコール発酵)についてはまだ分離できず、残りサンプルは初期の約60%。
- Torulaspora delbrueckii 株は、香気のような芳香と高い発泡性、微アルコール生成能力を有することを確認。詳細な同定作業と並行し、Saccharomyces cerevisiae 株へのキラー性がないことを確認中。

Strain	Species	発酵特性(1週間発酵時)	発酵特性(2週間発酵時)
Torulaspora delbrueckii	Torulaspora delbrueckii	発酵速度: 速発酵(1週間)	発酵速度: 速発酵(1週間)
Saccharomyces cerevisiae	Saccharomyces cerevisiae	発酵速度: 遅発酵(2週間)	発酵速度: 遅発酵(2週間)
Saccharomyces cerevisiae	Saccharomyces cerevisiae	発酵速度: 遅発酵(2週間)	発酵速度: 遅発酵(2週間)
Saccharomyces cerevisiae	Saccharomyces cerevisiae	発酵速度: 遅発酵(2週間)	発酵速度: 遅発酵(2週間)
Saccharomyces cerevisiae	Saccharomyces cerevisiae	発酵速度: 遅発酵(2週間)	発酵速度: 遅発酵(2週間)
Saccharomyces cerevisiae	Saccharomyces cerevisiae	発酵速度: 遅発酵(2週間)	発酵速度: 遅発酵(2週間)

国立大学法人 奈良女子大学 理学部 生物科学科 鈴木孝仁 (教授)、池口伸一 (准教授)

今年は昨年秋に東京イノベーションジャパンでも出展した(推進レター29号にて紹介)『色素を連結した感圧・感温塗料用ポリマー』小幡誠先生(大学院人間文化研究科)と、地域に根付いた研究紹介として、『地域資財(奈良漬)展開プロジェクト(左上)』代表 増井正哉先生(生活観光現代GP推進室 生活環境学部)、『地域資財(御所柿)復興プロジェクト(右上)』寺岡伸吾先生(文学部)他、『地域資財(ナラノヤエザクラ)展開プロジェクト(左下)』鈴木孝仁先生(理学部)、岩口伸一先生(理学部)のパネルを用意しこれらの活動をPRLしました。



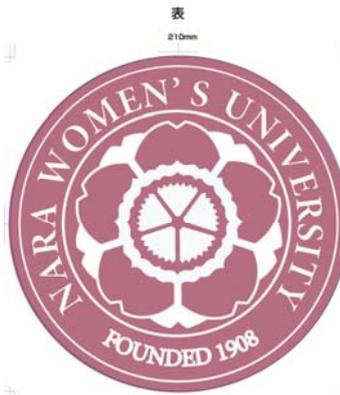
↑創立百周年宣伝も、キトラポスターを参考にパネルを作成しました。



↑他大学が大学商品を宣伝しているなか、本学も今年初めて商品を陳列することができました。



↑他大学ブースでの出展例です。年を追って、大学展示も企業展示並みに深く印象に残るように効果的な情報発信がなされるようになってきています。



↑今年で5枚目になります『うちわ』です。会場で毎年配布していますが、「今年はどんな色？」と毎年違った色で配布するうちわを楽しみにして下さる固定ファンもおられます。うちわは、まだ余分がありますので研究室や部局の催しで必要な方は社会連携センター藤野(3734)までご連絡ください。

2. 奈良女子大学メールマガジン好評配信中

奈良女子大学メールマガジンは、毎週金曜日に配信しております。6月20日(金)の配信で157号を数え、この間にご紹介した大学やその周辺の季節写真は2587枚となりました。6月20日現在登録読者数は635人、2グループです。

登録方法は e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp 宛に、件名を「登録」として送信するだけです。登録がまだの方は是非登録してみてください。157号では上記産学官連携推進会議の報告(写真とも)のほか、6月15日までが春の開山期間であった若草山に12日に登り、大学を眺めた風景などが掲載されています。毎月1回、平日の昼間に開催されます『ランチタイムコンサート』の様子は一部を動画にて紹介するコーナーもあります。

3. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。
各種表彰などについては下記URLをご参照ください。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>
また本学に募集のあった共同研究の公募については
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>
をご参照ください。

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

(財) 国際科学技術財団 H20年度研究助成対象者推薦

【学内締切】平成20年7月17日

【助成対象】分野Ⅰ:自然と共生する持続可能な技術社会形成 分野Ⅱ:医学・工学の融合における疾患への技術の展開

【助成金額】100万円

【応募対象】35歳未満(H20.11.30現在)で国内で継続した研究が可能であること(留学生可)

【問い合わせ】<http://www.japanprize.jp/>

(財) 松尾学術振興財団 H20年度松尾学術研究助成

【学内締切】平成20年7月22日

【助成対象】原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学

【助成金額】上限500・300万円

【助成対象】若手研究者を優先

【問い合わせ】<http://www.matsuo-acad.or.jp/>

(財) ユニバーサル財団 H20年度研究助成

【学内締切】平成20年7月22日

【助成対象】「豊かで活力ある長寿社会の構築をめざして」を基本テーマとした研究

【助成金額】上限100万円

【応募対象】博士前期課程在籍者の申請は指導協力教員を必要とする

【問い合わせ】<http://www.univers.or.jp/>

(財) 岩谷直治記念財団 H20年度岩谷科学技術研究助成金候補者推薦

【学内締切】平成20年7月18日

【助成対象】エネルギー、環境に関する重要かつ独創的な研究開発

【助成金額】上限200万円/件

ダノン健康栄養・普及協会 2009年度ダノン学術研究助成金

【公募時期】平成20年8月29日(必着)

【助成対象】「栄養と健康に関する基礎的・臨床的研究」小児栄養及びプロバイオティクス

【助成金額】200万円

【問い合わせ】<http://www.danone-institute.gr.jp/>

(財) 栢森情報科学振興財団 H20年度研究助成

【公募時期】平成20年9月1日(必着)

【助成対象】情報科学に関する研究 1:研究助成 2:フォーラム・シンポジウム等開催助成

【助成金額】1:上限200万円/件 2:総額100万円

【問い合わせ】<http://www.kayamorif.or.jp/>

(財) 日産科学振興財団 H20年度理科/環境教育助成

【公募時期】平成20年7月31日

【助成対象】理科教育、環境教育

【助成金額】40万円/件

【応募要件】院生を含む。WEB申請と郵送両方要

【問い合わせ】<http://www.nissan-zaidan.or.jp/>

(公) 福原記念英米文学研究助成基金 H20年度研究助成金

【公募時期】平成20年10月31日(必着)

【助成対象】英米文学研究 A:研究助成 B:出版助成

【助成金額】A:40万円 B:100万円

(財) 慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団 H20年度研究助成

【公募時期】平成20年7月10日(必着)

【助成対象】1.中・高齢者の健康増進に関する研究 2.老化に影響を及ぼす因子の解明

【助成金額】20~100万円/件

【問い合わせ】<http://www.taishitsu.or.jp/JHF/>

(財) 浦上食品・食文化振興財団 H20年度研究助成

【公募時期】平成20年7月20日(必着)

【助成対象】食品の生産・加工及び安全性等に関する研究並びに食文化に関する研究

【助成金額】上限300万円

【問い合わせ】<http://www.urakamizaidan.or.jp/>

(財) 稲盛財団 H21年度研究助成金

【学内締切】平成20年7月22日

【助成対象】自然科学系、人文・社会科学系 H21年度優先分野「エレクトロニクス」、
生物科学(進化・行動・生態・環境)

【助成金額】100万円/件

【応募対象】自然科学系では40歳以下の若手研究者を優先

【問い合わせ】<http://www.inamori-f.or.jp/>

(財) 大和証券ヘルス財団 H20年度調査研究助成

【公募時期】平成20年7月31日(消印有効)

【助成対象】中・高齢者の保健・医療及び福祉等に関する調査研究

【助成金額】100万円

【問い合わせ】<http://www.daiwa-grp.jp/branding/citizen/dsh/>

(財) 日本証券奨学財団 H20年度研究調査助成

【学内締切】平成20年7月30日

【助成対象】法学、経済学、社会学、理学及び工学

【助成金額】100万円/件

【問い合わせ】<http://www.jssf.or.jp/>

(財) 明治安田厚生事業団 H20年度健康医科学研究助成

【学内締切】平成20年10月15日

【助成対象】積極的な健康の維持増進に活用できる研究課題

【助成金額】100万円程度/件

【応募対象】40歳未満(申請時)の研究者(博士後期課程以上)

【問い合わせ】<http://www.tai-ken.jp/>

(財) 上原記念生命科学財団 H20年度研究助成

【学内締切】A、B:平成20年8月22日 C:—

【助成対象】生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する研究

A:研究助成金 B:研究奨励金 C:特定研究助成金「生体制御分子科学」

【助成金額】A:500万円 B:200万円 C:1,500万円・900万円/件

【応募要件】データ送信要(A,B:9.5正午まで、C:7.28正午まで)

【応募対象】B:若手研究者(S46.4.1以降出生の研究者)

【問い合わせ】<http://www.ueharazaidan.com/>

(財) ノバルティス科学振興財団 平成20年度研究奨励金

【学内締切】平成20年9月1日

【助成対象】生物・生命科学およびそれに関連する科学の領域における創造的な研究

【助成金額】100万円

【応募対象】原則として博士号を有する研究者(またはH21.3末までに学位取得が予定されている研究者)

【問い合わせ】<http://www.novartisfound.or.jp/>